

シャルダン展—静寂の巨匠

Cardin 1699-1779

ジャン・シメオン・シャルダン(1699-1779)は、デイドロをはじめとする当時の批評家に高く評価され、各国の王侯貴族にも愛好されたものの、没後は長らく顧みられることがなかった。しかし19世紀半ば以降に再評価され、ミレー、マネ、セザンヌ、マティスなど、多くの画家たちに影響を与えた。また小説家のブルーストは『失われた時を求めて』でシャルダンの静物描写について称賛している。18世紀のフランスを代表する静物画・風俗画の巨匠であり、画業は60年近くにも及ぶが、現存する作品は238点しかない。さらに日本国内に所蔵される作品はわずか2点のみ、ルーヴル美術館をのぞけば10点以上所蔵している美術館は世界中に1館しかないことから、シャルダン展の開催そのものが極めて難易度が高い。結果として三菱一号館美術館での展覧会が、我が国では初めての個展となった。

本展では、ルーヴル美術館名誉総裁・館長で、アカデミー・フランセーズ会員のピエール・ローザンバール氏を監修とし、世界有数のシャルダン・コレクションを誇るルーヴル美術館の特別協力を得たことで38点の作品を確保、うち、海外からの作品が37点、そのうち26点が初来日の作品で占められていた。出品作のうち《食前の祈り》は現存する4点のうち、2点が出品され、画家が死ぬまで愛蔵したヴァージョンと、個人コレクションを経てロシアの女帝エカチェリーナ2世が入手したヴァージョンが1979年にパリ、ボストン、クリーヴランドでの展覧会で並べて展示されて以来33年ぶりの再会となった。また、現在では別れて所蔵されている対作品が並べられ、東京富士美術館



監修のピエール・ローザンバール氏と高橋明也館長



「シャルダン展」ポスター

の《デッサンの勉強》とヒューストン美術館の《良き教育》、ボストン美術館の《台所のテーブル》とカルカソンヌ美術館の《配膳室のテーブル》はまた、33年ぶりに並べての展示となった。さらに、通常非公開の2点の個人蔵作品《羽根を持つ少女》《木いちごの籠》などの代表的な作品が出品された。《羽根を持つ少女》については、個人蔵のオリジナルと、ウフィッツィ美術館蔵のレプリカが初めて並べて展示されたことで、作品の帰属やシャルダンの制作方法について、多くの示唆とともに、今後議論すべき題材を与えた。

展覧会に併せて、監修のピエール・ローザンバール氏と、フリック・コレクション館長代理のコリン・ベイリー氏の講演会が開催された。また日仏美術学会主催のシンポジウムに協力したことで、学術的にも意義のある展覧会となった。

開館日数：102日
入場者数：106,565人

メディア掲載：掲載記事合計数 254
(新聞掲載件数 57 雑誌掲載件数 147 TV・ラジオ掲載件数 11 WEB掲載件数 39)



会場風景



会場風景

タイトル：シャルダン展—静寂の巨匠（和）
Chardin 1699-1779（英・仏）

会 期：2012年9月8日（木）—2013年1月6日（日）

開館時間：木・金・土10：00～20：00／火・水・土・日・祝
10：00～18：00 ※入館は閉館の30分前まで

休 館 日：月曜休館（ただし12月25日は開館。12月29日（土）～
2013年1月1日（火）は休館）

主 催：三菱一号館美術館、NHKプロモーション、読売新聞社

特別協力：ルーヴル美術館

後 援：フランス大使館

協 賛：大日本印刷

協 力：日本航空

イベント：

シャルダン展開催記念特別講演会

- ・2012年9月8日（土）14：00～ 会場：コンファレンススクエア
M+グランド

講師：ピエール・ローザンバール氏（ルーヴル美術館名誉総
裁・館長／アカデミーフランセーズ会員、本展監修）

- ・2012年9月15日（土）14：00～ 会場：コンファレンススクエア
M+サクセス

講師：コリン・ベイリー氏（フリック・コレクション館長
代理）

丸の内アートサロン（会場：丸の内カフェ SEEK）

- ・展覧会を語る「シャルダン展—静寂の巨匠」
2012年10月3日（水）19：00～
講師：安井裕雄（三菱一号館美術館主任学芸員、本展担当）

- ・展覧会を語る「シャルダン、色彩の魔術師」
2012年10月17日（水）19：00～
講師：大野芳材（青山学院女子短期大学教授、本展学術
協力）

シャルダン展関連ワークショップ

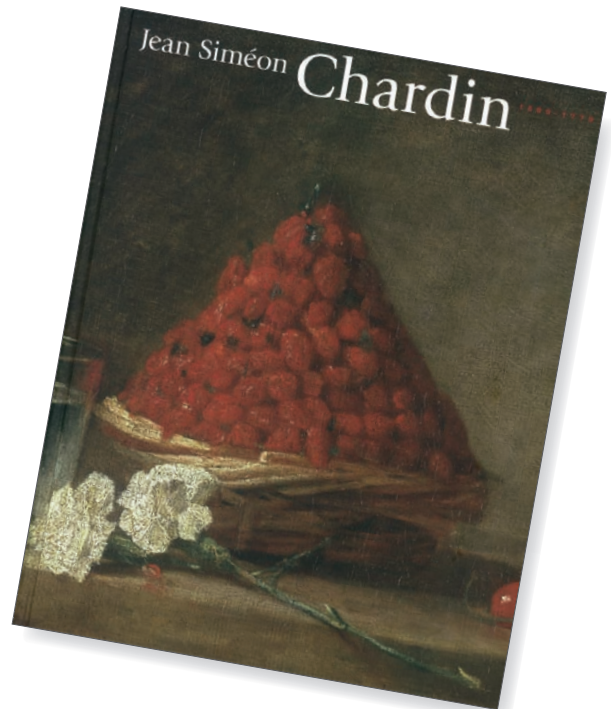
- ・「美術館ハイク」～シャルダン展×冬の句会～
会場：Café1894（三菱一号館美術館内）
2012年11月20日（火）15：00～
講師：大高翔

シンポジウム（主催：日仏美術学会、公益財団法人日仏会館、
日仏会館フランス事務所 協力：三菱一号館美術館）

- ・「シャルダンとその時代」
2012年9月14日（金）
午後の部 司会：高橋明也（三菱一号館美術館館長）
発表：安井裕雄（三菱一号館美術館主任学芸員、本展担当）



会場風景



「シャルダン展」カタログ